

仙台高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0020			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合工学科Ⅰ類			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書「国語総合」（明治書院）／教材「国語総合学習課題ノート」（明治書院）						
担当教員	伊勢 英明						
到達目標							
1 学年での学習を踏まえ、より高度な国語力の涵養に努める。 現代文では、一言一句の意味や文章の展開などを正確に読み取りながら、随筆および詩歌では筆者や作者の独自なものの見方・感じ方について、評論文では論じられている問題について、小説では作中人物の心情や思想について、自分なりの捉え方や考え方を育てるようになる。 古文・漢文では、より高度な知識を習得するとともに、作品が生まれた時代状況や文学史的な流れを理解することにより、現代に至るまでの日本文化の背景を理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
詩歌や小説への理解や興味	詩歌・小説の文意や作者の表現しようとするところを理解し、それについての自分なりの感想を持つことができる。			文意を理解し、文芸作品に対する興味を持つことができる。		文意の理解が十分でなく、文芸作品に対する興味を持つことができない。	
評論や随筆への理解や興味	評論文や随筆を読み、文意を正しく理解した上で、論理の展開や考え方の独自性を味わい、それについての自分なりの意見をまとめることができる。			論旨を把握し、文意を正確に理解することができる。		文意を理解できず、論旨を把握することができない。	
古典への理解や興味	古文・漢文の高度な知識を理解した上で、古典に親しみ、古典の意義を理解することができる。			古典についての高度な知識を習得し、古典に親しむ素地を作ることができる。		古典についての高度な知識を習得し、古典に親しむ素地を作ることができる。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 3 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力							
教育方法等							
概要	1 学年での国語学習を踏まえながら、文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについての考えを深め広げることができるような、より高度な「読む・聞く・話す・書く」国語力を総合的に養う。 また演習を通じて、国語表現の基礎（仮名遣い、送り仮名、句読点、表記符号、同音異義語、同訓異字、待遇表現、文体の統一等）を身につけ、さらに随時百人一首のカルタ取りを行うことにより、古典和歌に親しみ、日本文化の一端に触れる。						
授業の進め方・方法	通常の授業では教科書に従い、前後期それぞれ中間試験前には現代文、中間試験以降期末試験までは古文・漢文の授業を行う。現代語の語句や熟語、基本的な古語を事前に調べた上で、問題集なども用いながら教科書掲載の文章を正確に読み取り論点を明らかにし、さらにペアワークなどによってより理解を深めて行くようになる。 また、演習問題を通じて国語表現の基礎（仮名遣い、送り仮名、句読点、表記符号、同音異義語、同訓異字、待遇表現、文体の統一等）を身につけ、正しい日本語表現ができるようになる。 毎回の授業までに、授業で行う内容と意義を考えて整理しておく。また、毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。						
注意点	授業の前に教科書を一読し、分からない語句等があれば事前に調べておくこと。また、教科書や読書の時間を通して触れた作者や筆者に関心が湧いたら、著書に当たり積極的に読書範囲を広げるよう努める。 定期試験での成績 8 0 %、その他（日本語表現の演習、カルタへの参加状況など） 2 0 % で評価する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス		学習目標や方法・評価などについて理解できるようになる。		
		2週	評論「水の東西」論の展開に注意して、論旨を把握する。 正しい仮名遣いを身につける。		文章全体の構成を理解し、大意を掴み、各段落のつながりや展開を理解できるようになる。		
		3週	評論「水の東西」論の展開に注意して、論旨を把握する。 正しい仮名遣いを身につける。		段落ごとに文脈に沿った言葉の意味を理解し、文意を正しく捉えることができるようになる。		
		4週	評論「水の東西」論の展開に注意して、論旨を把握する。 正しい送り仮名の送り方を身につける。		筆者の言いたいことを把握し、要旨をまとめ、さらにそれに対する自分なりの意見を持つようになる。		
		5週	小説「水かまきり」場面の展開に即して、作中人物の心情の移り変わりを読み取る。 正しい送り仮名の送り方を身につける。		ストーリーの展開に即して、小説全体の構成を理解することができるようになる。		
		6週	小説「水かまきり」場面の展開に即して、作中人物の心情の移り変わりを読み取る。 正しい文字の使い分け方を身につける。		具体的な表現に即しながら、主人公の心理の移り変わりを読み取ることができるようになる。		
		7週	小説「水かまきり」場面の展開に即して、作中人物の心情の移り変わりを読み取る。 正しい文字の使い方を身につける。		小説の表現効果に注意しながら、作品の主題をまとめ、自分の意見や感想をまとめることができるようになる。		
		8週	前期中間試験と答案返却				

	2ndQ	9週	『宇治拾遺物語』『検非違使忠明』 説話に描かれた人物像の多様なものの見方・考え方を 知り、古典に親しむ態度を養う。 句読点・表記符号の正しい使い方を身につける。	文法に即して正確に現代語訳できるようになるととも に、内容を味わうことができるようになる。
		10週	『宇治拾遺物語』『検非違使忠明』 説話に描かれた人物像の多様なものの見方・考え方を 知り、古典に親しむ態度を養う。 句読点・表記符号の正しい使い方を身につける。	説話に描かれた人物像の多様なものの見方・考え方を 知るとともに、文学史的な意義を確認できるようにな る。
		11週	『徒然草』『奥山に猫またといふものありて』 古典文法などの知識を活用して正確に内容を読み取り 、筆者の考え方に触れる。 同音異義語の使い方に注意する。	古文についての知識を持ちより深く理解できるよう になるとともに、それらを活用して正しく文意を把握で けるようになる。
		12週	『徒然草』『奥山に猫またといふものありて』 古典文法などの知識を活用して正確に内容を読み取り 、筆者の考え方に触れる。 同音異義語の使い方に注意する。	筆者の考えをまとめるとともに、それに対するの自分 なりの感想や意見を持てるようになる。
		13週	故事成語「守株」 漢文についての知識を活用して正確に内容を読み取り 、小話に込められた機知や教訓を読み取る。 同訓異字の書き分けに注意する。	これまで学んだ漢文の知識を用いて正しく文意を把握 し、小話に込められた機知や教訓を理解できるようにな る。
		14週	十八史略「鶏口牛後」 漢文についての知識を活用して正確に内容を読み取る とともに、歴史的背景についても学ぶ。 同訓異字の書き分けに注意する。	漢文を正確に音読できるようになるとともに、句型を 理解し、書かれている内容を正しく把握できるようにな る。また、歴史的背景も理解できるようになる。
		15週	前期末試験	
		16週	答案返却と補講	
後期	3rdQ	1週	評論「マルジャナーナの知恵」 論の展開に注意して、論旨を把握する。 類義語に注意する。	各段落のキーワードを押さえながら要旨をまとめ、対 比的な構成を取りながら論を展開して行く方法を理解 できるようになる。
		2週	評論「マルジャナーナの知恵」 論の展開に注意して、論旨を把握する。 類義語に注意する。	文脈に沿った言葉の意味を理解し、さらに接続詞の働 きや指示語の内容の把握、比喩や言い換えの読み取り が出来るようになる。
		3週	評論「マルジャナーナの知恵」 論の展開に注意して、論旨を把握する。 慣用句を正しく使えるようになる。	主題的に論じられる歴史への向き合い方を、多角的に 検討できるようになる。
		4週	小説「海の方の子」 文章の構成や展開を確かめながら、作品の主題を的確 に読み取る。 慣用句を正しく使えるようになる。	回想による語りという小説の基本的な構造をおさえ、 どのような点に着目しながら読んでいくのかを理解で けるようになる。
		5週	小説「海の方の子」 文章の構成や展開を確かめながら、作品の主題を的確 に読み取る。 正しい待遇表現を身につける。	語り手の私が「大人になる」ことをどのように受け止 めているかを考えながら、主題を的確に把握できるよ うになる。
		6週	小説「海の方の子」 文章の構成や展開を確かめながら、作品の主題を的確 に読み取る。 正しい待遇表現を身につける。	表現上の特色に着目することを通して、言語表現への 関心を持てるようになる。
		7週	近現代詩「薔のうへ」「サーカス」 詩を朗読してリズムやイメージを喚起し味わうととも に、詩の形式や表現の特色、主題を掴む。 文の乱れに注意する。	詩を朗読してリズムやイメージを喚起し味わうことが できるようになるとともに、詩の形式や表現の特色、 主題を理解できるようになる。
		8週	後期中間試験と答案返却	
	4thQ	9週	『竹取物語』『かぐや姫の生ひ立ち』 古文の音読により一層慣れるとともに、これまでに学 んだ古典文法の知識を用いて内容を正確に読み取る。 文の乱れに注意する。	音読が正しくできるようになるとともに、古典文法に 即した正確な現代語訳ができるようになる。
		10週	『竹取物語』『かぐや姫の生ひ立ち』 古文の音読により一層慣れるとともに、これまでに学 んだ古典文法の知識を用いて内容を正確に読み取る。 明快な表現を心がける。	内容を理解し、平安時代の物語文芸に対する興味が持 てるようになる。
		11週	『伊勢物語』『芥川』 物語を精読し、王朝人の感性を学ぶとともに和歌に託 された心情や和歌の修辞技法について学ぶ。 明快な表現を心がける。	物語内容を正しく把握し、王朝人の感性を理解できる ようになる。また、和歌の修辞技法について理解でき るようになる。
		12週	『伊勢物語』『芥川』 物語を精読し、王朝人の感性を学ぶとともに和歌に託 された心情や和歌の修辞技法について学ぶ。 文体を統一する。	内容を理解し、平安時代の物語文芸に対する興味が持 てるようになる。
		13週	十八史略「臥薪嘗胆」 漢文の音読のリズムを掴むとともに、基本的な句型を 学び、正確に内容を理解する。 文体を統一する。	漢文を正確に音読できるようになるとともに、句型を 理解し、書かれている内容を正しく把握できるようにな る。
		14週	唐詩「春」「送元二使安西」「春望」 唐詩の形式や押韻などの基礎知識を確認するとともに 、それぞれの詩に描かれた情景や心情を味わう。 国語表現について学んだことを復習する。	唐詩の形式や押韻などの基礎知識を確認するとともに 、内容を読み取り、それぞれの詩に描かれた情景や心 情を味わうことができるようになる。
		15週	後期末試験	
		16週	答案返却と補講	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約で きる。	2 前2,前3,後 1,後2

				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	前4,後3
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	前5,前6,前7,前9,前11,前12,前14,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	前11,前12,前13,後1,後2,後3
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	前13,後3,後4,後13
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	後1,後2,後3
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	前2,前3
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	前3
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	後1,後7,後9,後10,後11,後12,後13
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	前7
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前4,後3
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	前4
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	後7

評価割合				
	試験	提出物	その他	合計
総合評価割合	80	10	10	100
基礎的能力	80	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0